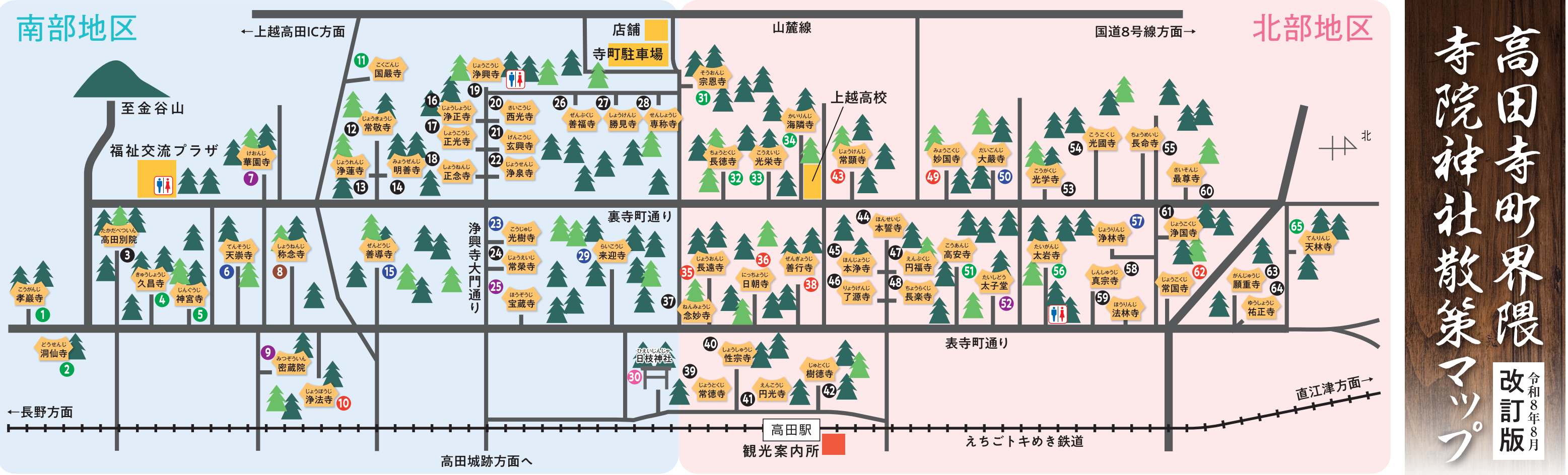




番号	寺院名	南部地区／寺院寺社ワンポイントアドバイス
1	孝 巖 寺	長野県飯山の創立で、福島城下を経て、現在の高田城下に移ったと言われています。春には椿、夏には百日紅（さるすべり）等の素晴らしい景観が、お寺を訪れる皆様の心を癒します。
2	洞 仙 寺	慶長16年に高田寺町に創立され、それ以来400年の間、地域の皆さんに信仰され現在に至っています。
3	高田別院	真宗大谷派の別院。江戸時代に建立された山門は、総樺の単層入母屋造りで上越地方最大級です。十二支や中国の故事にちなんだ彫刻が見事で、本堂・鐘楼と共に国登録有形文化財です。
4	久 昌 寺	山門を入り松並木を進むと、葦屋根と正面の祀、花頭窓の格子があります。参道の両脇に並ぶ石仏、熊笹が参拝者を迎えてくれます。
5	神 宮 寺	松の木立の静寂な境内の本堂創建当時に敷かれた石畳の参道を進むと、心静かに六地藏を拝むことができます。
6	天 崇 寺	上杉謙信の創建といわれ、松平中将家の菩提寺。高田姫、初代高松宮好仁親王妃の墓があります。天明地藏が祀られ、山門は市文化財に指定されています。
7	華 園 寺	落ち着いた山門と新装なった本堂とがマッチして景観をなしています。「義経記」に源義経ゆかりの寺院と記されています。
8	称 念 寺	上越地方で唯一の時宗の寺です。国指定重要文化財の木造一鎮倚像（遊行六代、称念寺開山）が安置されています。格天井には三条市出身の絵師 五十嵐華亭の作、約3メートル四方の墨龍図があります。
9	密 蔵 院	米山寺の里坊として創建され、「馬出薬師」と呼ばれました。境内には、四国八十八力所をここからお参りする逢持塔などがあります。
10	浄 法 寺	山門を入ると左側に、高田藩士安藤仲氏の寄進による線刻の加藤清正像碑がある。清正公は日蓮宗の大檀越でした。
11	国 厳 寺	境内には椿の立木が多く、周りに建物が少なく、一日中日が当たり、五輪塔の中には開祖仏元の守り本尊である普光寺如来が納められている。地藏様が参拝者を迎えてくれます。
12	常 敬 寺	親鸞聖人直孫唯善（ゆいぜん）上人開基（弘安7年、1284年）で、「赤門さん」の名前で広く親しまれています。
13	浄 蓮 寺	境内地は、「緑陰の小庭」と名付けられ、四季折々の木々、宿根草、草花で彩られ、小さな池には水音の中金魚が泳いでいます。
14	明 善 寺	赤門の右手に位置します。春先にはフランスギクが咲き誇ります。
15	善 導 寺	「高田の大きなものは善導寺の仁王さん」として有名。境内には龍神の井戸や、高田藩家老小栗美作の墓があります。
16	浄 正 寺	長野県松本市に端を発し500年以上の歴史を持ち浄興寺の塔頭として共に寺地をかえて来たお寺です。寺紋は椿扇。永く留まった新井生姜塚の自然石を入口に鎮座させ秋は紅葉が真紅に染まります。
17	正 光 寺	よく手入れされた庭と、緑の木々の中に本堂が見られます。
18	正 念 寺	参道にはよく手入れされたサツキがあり、境内には花が咲く木々が植えられ、四季を感じさせてくれます。
19	浄 興 寺	開山は親鸞聖人、真宗浄興寺派の本山です。平成の大修理を終えた本堂は県内の真宗寺院建築では最大かつ最古で、国指定重要文化財です。
20	西 光 寺	本堂西側の参道に植えられているブナの木が涼しげに葉をそよがせています。
21	玄 興 寺	本堂から庫裡にかけて敷石があります。
22	浄 泉 寺	上杉家の家臣宗誓が開基のお寺です。手植えの花が美しく咲いています。
23	光 樹 寺	大きな松が目に入ります。その入り口では、如意輪観音様の石碑が私たちをお出迎えくださいます。
24	常 榮 寺	ツツジの生垣に囲まれ、閑静な境内は草花が植えられていて、木々の間からそびえる鐘樓が観られます。

※番号の赤字は日蓮宗、青字は浄土宗、黒字は浄土真宗、緑色は曹洞宗、紫色は真言宗、茶色は時宗、ピンク色は神社

25	宝 蔵 寺	寺町では唯一の真言宗智山派の寺院です。姫路から移ったといわれ、昔は「金蔵寺さん」と親しまれたそうです。
26	善 福 寺	境内の杉の木と奥庭の竹林が静かな落ち着いた雰囲気をかもし出しています。樹間から透れる光の陰影が美しい。
27	勝 見 寺	もみじの木々が真紅に彩る秋の境内が見事です。
28	専 称 寺	椿の咲くころ、境内に入ると花の香りが芳しく、緑と花の色のコントラストが美しい。門脇の「春雨」は名木です。
29	来 迎 寺	重厚な山門、石畳の参道、樹木に囲まれた境内は、落ち着いた静寂なたたずまいをなし、木立の中に証空の供養塔があります。
30	日枝神社	境内には菅原神社ほか9社が鎮座しています。ほかに、みこし殿、手水舎もあります。本殿正面の額の書は、14代藩主榊原政公によります。

番号	寺院名	北部地区／寺院寺社ワンポイントアドバイス
31	宗 恩 寺	つつじ、あじさい、梅、桜、椿、かえでなどが四季を楽しませてくれます。釈迦が覺りを開いた天竺菩提樹の株分けの孫木があります。
32	長 徳 寺	上杉謙信の母が寄進したと伝えられる「まます地蔵」があり、「賽の河原」で金棒を握った石の鬼や、小石、泣く子の像もあります。
33	光 栄 寺	境内には四季桜が一本あり、閑静なたたずまいが印象的です。上越越境界に知られる榊原家茶頭・荒井宗二の碑があります。
34	海 隣 寺	天正2年上杉謙信公の帰依を受け開創され450年の法灯が続いています。広い境内には宝暦大地震の殉難者供養塔が建っています。
35	長 遠 寺	うっ蒼と茂る杉木立の静寂な空間は、俗世との結界を感じさせます。日本銀行を設計した長野宇平治の墓があります。
36	日 朝 寺	スギゴケの緑が映える境内、早春の枝垂れ桜が美しい。日蓮を出迎えた精緻な毘沙門天縁起の絵馬が残されています。
37	念 妙 寺	平成22年に移転しました。寺町通りに面した瀟洒な建物が目印です。
38	善 行 寺	越後騒動の主役となった永見家の菩提寺で、その家族の墓が現存しています。お寺の本堂については寺町寺院群の中で最も古い本堂と言われています。境内のアジサイの花も有名です。
39	常 徳 寺	本堂より高田駅に入りする電車が見える、明るなお寺です。
40	性 宗 寺	「親鸞聖人御旧跡」で真宗佛光寺派の旧和田御坊のお寺です。「大逆事件」の弁護士であり、歌人としても有名な平出修の墓所があります。
41	円 光 寺	境内地にはたくさんの草花が植栽されており、通行人の目を楽しめています。
42	樹 徳 寺	高田駅裏口の眼前に佇むお寺です。本堂周りの桃の花や紅葉が季節を楽しませてくれます。
43	常 顕 寺	山門をくぐると厳肅な杉並木や秋には萩の花が境内を包みます。本堂内の廊下は漆で施され、まるで水鏡のようで心が洗われます。
44	本 誓 寺	高田寺町・北部寺院の中では最大の木造建築の本堂。広い境内には由緒ある寺歴に沿うようにイチョウの大木が生い繁っています。
45	本 浄 寺	落ち着いた本堂正面の屋根の張り出した部分に彫られた龍はまるで生きているかのように感じられます。
46	了 源 寺	本誓寺さんの参道に入り左手一番目、本堂の壁の色はオレンジ色です。
47	円 福 寺	本誓寺の参道の右手に石堀に囲まれ、初夏には紫と白のアヤメの花が、秋には萩の花が咲き誇ります。

48	長 楽 寺	木堀で囲まれ、本堂には中国の故事にもとづく精緻な浮彫があり、木彫と白壁とが見事に調和した寺院です。
49	妙 国 寺	杉並木の参道・銀杏の大木と自然な草木・竹林の中に、瓦屋根と向拝の均整のとれた本堂があります。山岡太夫（山椒太夫）の墓も必見。春は花、夏は緑の木陰、秋は黄色い絨毯がみごと。
50	大 巖 寺	杉並木と5月中旬頃満開になるツツジの参道は通称二河白道といい、お釈迦様の極楽浄土詣りのたとえ風景として書ばれています。
51	高 安 寺	重厚な山門が目立つお寺で、芭蕉が元禄2年に濱之観音を参拝して休んでいかれました。境内には杉蒼、森青蛙の産卵地あり、観音清水が湧き出ています。
52	太 子 堂	無住ですが、聖徳太子像を祀る太子堂です。
53	光 学 寺	本堂の裏にあるあでやかなしだれ桜が、短い春を楽しませてくれます。
54	光 國 寺	木々の間をまっすぐに伸びる参道を進むと、鳥地黙雷が揮毫した「光國精舎」の扁額が目に入ります。
55	長 命 寺	1816年に竣工された本堂は築後200年を超えました。境内の花々が四季の訪れを告げ、鳥や蝶が遊びに来ています。
56	太 岩 寺	山門をくぐると20数体の地藏菩薩。その隣には閻魔堂があり、「太岩寺の閻魔様」は眼光鋭く、人間界を見据えておられます。
57	浄 林 寺	石橋を渡り、石畳の参道に入ると高い生垣に囲まれた庭園があり、一人瞑想にふけりたい…そんな静寂がある寺院です。
58	真 宗 寺	そこそこに設けた腰掛に座り、足を休めてのんびりと心ゆくまでお寛ぎください。春は枝垂桜、夏は百日紅に桔梗、秋は多くの紅葉が皆様のお越しをお待ちしております。
59	法 林 寺	庫裡の玄関先に雪国には珍しい南天の生垣があり、冬にはたわわに赤い実をつけます。住職手書きの掲示板にも独特の趣があります。
60	最 尊 寺	寺町寺院には数少ない手水舎（ちようずや）が参道左手にあり、上に刻まれた「慈悲」の文字が温かく迎えてくれます。
61	浄 国 寺	本堂に向かって敷かれた石畳の参道と新緑、花期、紅葉と見どころの多いドウダンツツジの生垣、そして左手にある鐘樓が落ち着いた風情を感じさせます。
62	常 国 寺	門前が三叉路になっていたことから「みつげ常国寺」と呼ばれ親しまれています。境内には四季折々の花が植えられた手作りの庭があります。
63	願 重 寺	石橋を渡り山門をくぐると本堂が見えてきます。境内一杯に植栽された紅葉やイチョウの大木。秋にはすばらしい眺めです。
64	祐 正 寺	「ツツジに誘われて境内に入ると、宝篋印塔が凛として建っています。碑文「土橋村発祥之地」は、日本画家・小杉放庵による揮毫です。
65	天 林 寺	牡丹の美しい寺院です。高田醫女の心のよりどころでした。全国で一カ寺の醫女寺です。聖観音像、二十三夜塔が建っています。

■お問い合わせ

上越市観光推進課 TEL.025-526-5111

高田駅前観光案内所 TEL.025-521-5140

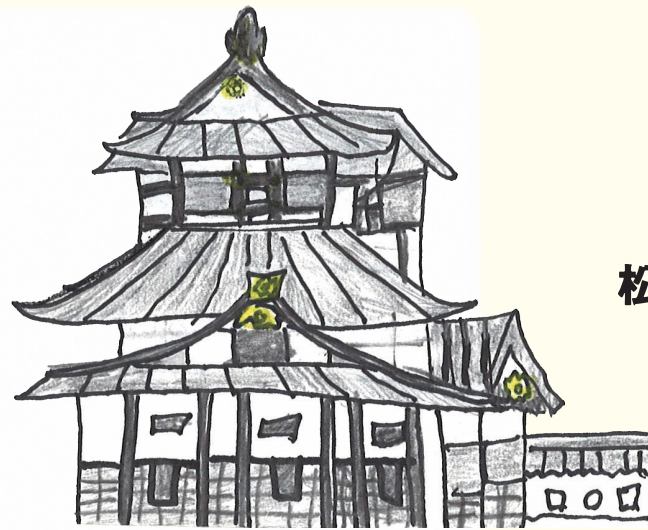
制作協力 寺町まちづくり協議会

寺町をめぐる時に知っておきたいポイント

寺町と高田城の関係って？

敵から高田城を守るために
堀として寺町がつけられました。
寺町のほぼ全ての寺の門が
高田城の方に向いています。

全長2kmにわたって約65軒の寺社が
2本の通りに並んでいます。



高田城

松平忠輝公



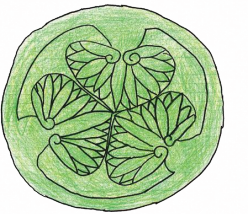
寺町と徳川家の関係とは!?

高田城の初代城主は松平忠輝公。
まつだいらただてるこう

松平忠輝公は徳川家康公の六男です。
とくがわいえやすこう

そのため、寺町と徳川家とのつながりが深くなりました。

寺町には徳川家の家紋である三つ葉葵の紋が
ある寺があります。ぜひ探してみてください。
みつばあおい



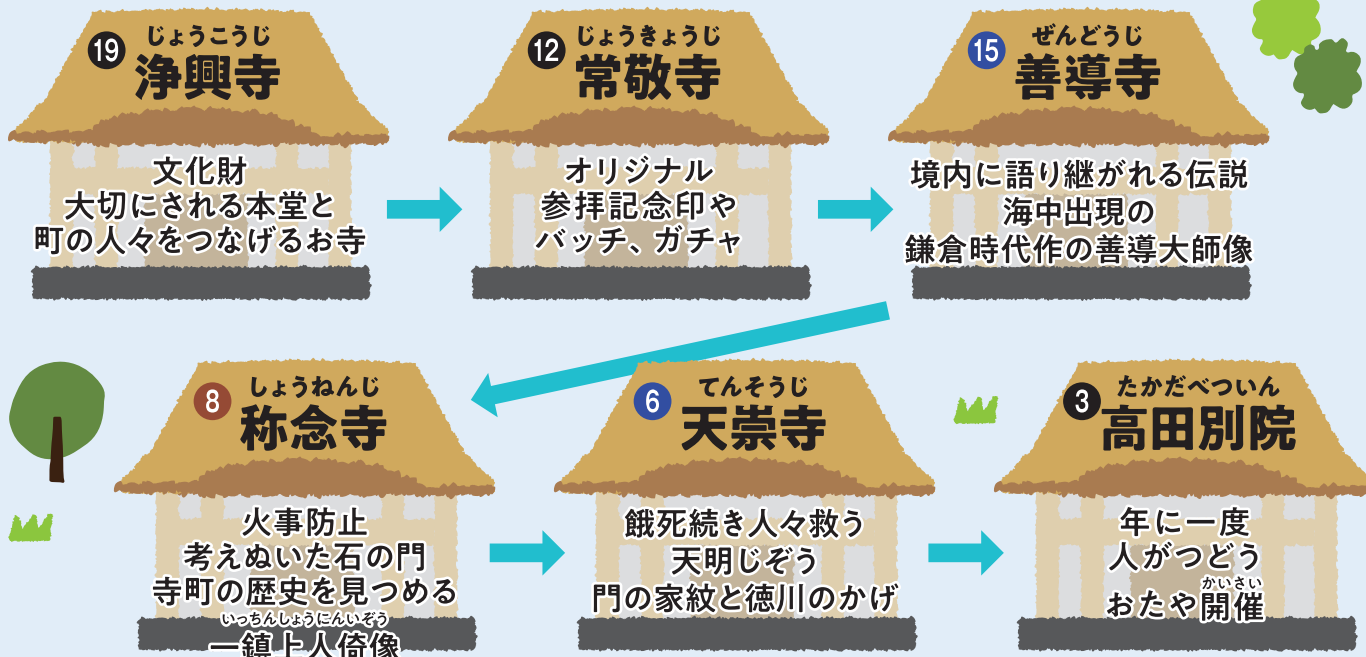
三つ葉葵の紋

きらめき発掘! 寺町の魅力大発見!!

きらめき学年
オリジナル
寺町かるた



文化財をめぐる南ルート



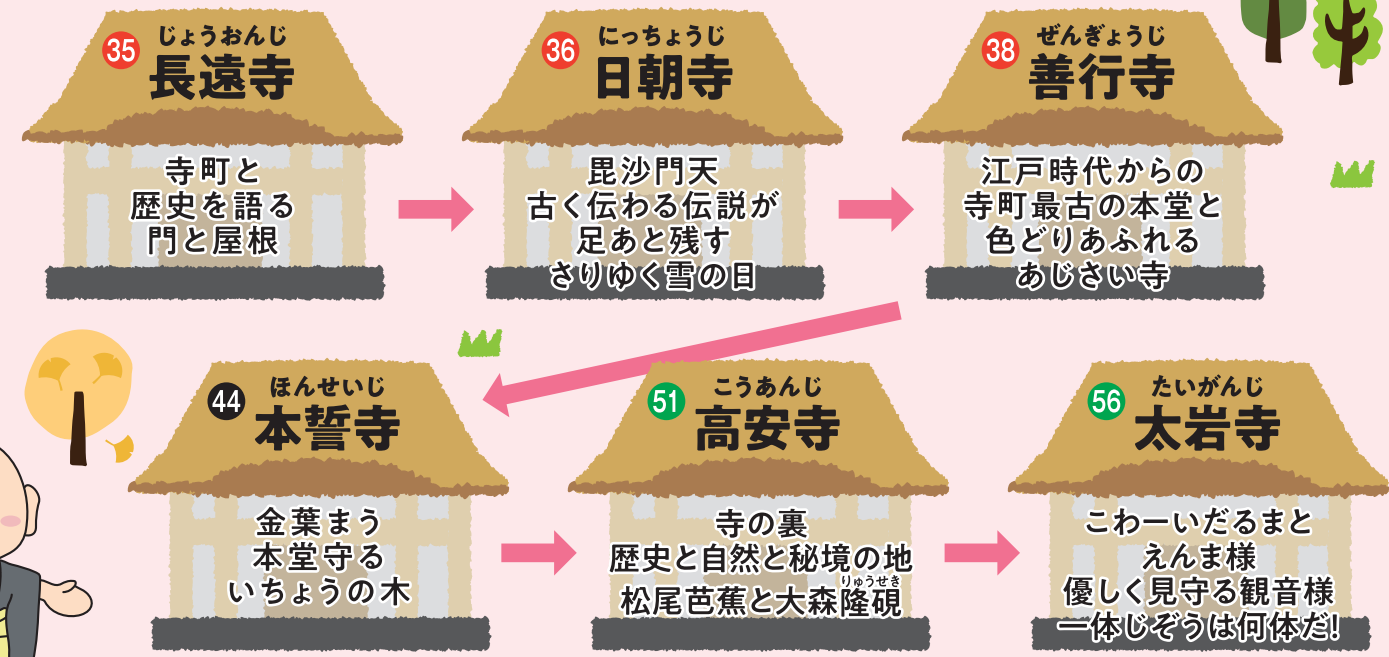
そうだ! 寺町に行こう!

きらめき
おすすめ
めぐると



寺町の「てらぼー」

歴史と自然をめぐる北ルート



他にも魅力のある寺がたくさんあります。

ぜひ足を運んでみてください。

令和元年度 大手町小学校 6年生
きらめき学年 作成